

ベーシックインカムの制度を導入することに対する是非について考える

■ 単元名： 社会保障の成立と進展

【単元の目標(めざす生徒の姿)】

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
社会保障制度の変遷、課題について理解している。社会保障制度に関連する資料を見て、課題解決に必要な情報を収集し、読み取ることができる。	社会保障制度を通して、持続可能な社会を形成するために必要な政策課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。	社会保障制度について関心をもち、社会保障制度の課題を解決しようとする意欲をもって学習に臨もうとしている。

■ 使用する機器、アプリ等

Chromebook、スプレッドシート

■ 学習のねらい

日本の格差社会の現状、生活保護制度の現状と課題について理解した上で、ベーシックインカムの考え方を取り入れた制度を導入することに対する是非について考える活動を通して、日本の社会保障制度の課題を解決するための方法を複数の視点から考察する。

■ 学習の流れ

【本時までの学習】(3時間)

- ・日本の社会保障制度のしくみについて理解する。
- ・日本や世界の社会保障制度の変遷について理解する。
- ・年金財政の課題について理解する。格差を示す指標(ローレンツ曲線・ジニ係数)について理解する。

【本時の流れ】(50分)

本時のポイント「ベーシックインカムの制度の導入に対する是非について考える」

ベーシックインカムの考え方を取り入れた制度を導入することに対する是非について3~4人の班で考え、賛成か反対かの意見をまとめる。その際、生活保護制度の現状と課題、ベーシックインカム制度の説明などについて書かれた4つの資料を参考にさせる。まずは各班から4つの資料の担当者を決め、席を移動し、それぞれの資料の内容について共有する。その後、元の班に戻り、それぞれの資料の内容を班で共有し、その内容を参考にしながら、班の意見をまとめ、スライドに記入する。

時間	学習内容・活動
8分 導入	(内容)ローレンツ曲線・ジニ係数を学習し、当初所得と再分配所得で格差の程度が大きく変化していることを理解するとともに、ベーシックインカムの概要を確認する。 (活動)スライドを見ながらプリントの穴埋めを行う。ローレンツ曲線の世帯分布について、単純化したグラフを書き、比較することで理解を深める。
15分 展開①	(内容)生活保護制度の現状と課題、ベーシックインカム制度について理解を深める。 (活動)3~4人の班をつくる。班の中で、生活保護制度の現状と課題、ベーシックインカム制度などに関する4つの資料のうち1人1つの資料を担当し、担当ごとに席を移動する。分担した資料を読み、スプレッドシートに要点を入力する。

20分 展開②	(内容)生活保護制度、ベーシックインカム制度に関する4つの資料を参考にしながら班で考察し、ベーシックインカム制度の導入に対する是非について班で意見をまとめる。 (活動)元の班に戻り、各自担当した資料の概要をスプレッドシートを見ながら報告する。それらの資料を参考にしながら、ベーシックインカム制度の導入に対しての是非を班で話し合い、賛成か反対かとその理由をスライドに記入する。
7分 共有・ まとめ	全体で意見を共有し、社会保障制度の課題を解決するてだてについて様々な意見があること、またその解決の難しさを理解する。 その後、自分の意見をスプレッドシートに入力する。

■ ココで ICT を活用！

4つの資料を分担して読み、その要点をスプレッドシートにまとめる

ベーシックインカムの制度を導入することに対する是非について3～4人の班で考え、賛成か反対かの意見をまとめるにあたり、生活保護制度の現状と課題、ベーシックインカムに関する4つの資料を参考にさせる。各班から A～D の4つの資料の担当を決め、それぞれが席を移動し、資料ごとに担当が集まり、各自が資料を読み、その内容を共有しながら資料の要点をスプレッドシートにまとめる。

元の班に戻り、4つの資料の内容について各班のシートにより共有する

その後、元の班に戻り、各自が担当した資料について要点をまとめたスプレッドシートの内容を見ながら、同じ班の他のメンバーにその内容を伝える。

以下は3班の4名が各担当の資料の要点を入力したデータを一覧表示したシート。

3班			
A	日本の失業者のうち失業給付を受けられているのはわずか23% 貧困に陥っている世帯のうち生活保護を受けられているのは15、3% 日本の生活保護基準は非常に厳しい	B	稼働世帯が増加したことで保護廃止に至る世帯も増加したが、その後安定した生活を送れずに最低生活基準以下へ転落する人が一定数いる。
C	ベーシックインカムはすでに存在し始めている。 絶対的貧困の解消 個人の自由な生活様式が創出できる 勤労意欲の質を向上させれる	D	ベーシックインカムを給付するための資金を捻出する方法として、増税は非現実的であり、歳出削減が現実的である。

班としてベーシックインカム制度の導入に対する是非についてスライドに記入する

4つの資料の内容を参考にしながら、ベーシックインカム制度の導入に対する是非について班で話し合い、班として賛成か、反対かの意見をまとめ、その理由について、スライドに記入する。以下は3班、4班のスライド。

3班の意見

3班は、ベーシック・インカムの導入に **賛成** 反対) です。
理由は、日本は生活保護基準が厳しく、ベーシック・インカムの導入によって全員が一定ラインを満たしていることで、生活の安定・安心感を得ることができ、生活においても労働においても向上心が高まるため。

4班の意見

4班は、ベーシック・インカムの導入に **賛成** 反対) です。
理由は、
ベーシックインカムを導入したら歳出を減らさないとしけなくて増税も行わないとしけなくなるかもしれない。結局、お金に困っている人がお金を給付されても、増税されると支出が多くなってしまふ。生活保護の基準を変えて本当に必要としている人々に焦点を当てたほうが現状を改善できると思うから。

グループでの活動後、自分の意見をスプレッドシートに入力する

グループでの活動の後、自分自身の意見をスプレッドシートに入力する。

■ ICT 活用のメリット

スプレッドシート・スライドの共同編集により、各自・各班の意見を共有

各班から選ばれた同じ資料の担当が集まり、資料を読み、その内容を共有したうえでスプレッドシートに要点を入力する。そのことにより、担当でない他の生徒が入力された内容を確認することで、それぞれの資料の全体を読まなくても概要を掴むことができる。

スライドについても、入力された他の班の意見と理由について確認することができ、多様な考え方があることを認識するとともに、それらの意見を参考にしながら、考察することができる。

スプレッドシートでは入力用・一覧表示用のシートなどの工夫が可能

スプレッドシートに資料の要点を入力するシートを用意し、生徒に指定のセルに入力させることで、そのセルを参照し、別のセルに同じデータを表示することができるため、上に示したような班ごとに各担当が入力した内容を一覧表示させることなども可能である。

■ 本実践での工夫

ベーシックインカム制度の導入に対する是非について話し合うにあたり4つの資料を参考にさせる

本単元では思考力・判断力・表現力等の観点において、「社会保障制度を通して、持続可能な社会を形成するために必要な政策課題を見だし、多面的・多角的に考察し表現している」という目標を立てた。そこで多面的・多角的に考察することができるように、生活保護制度の現状と課題、ベーシックインカムの説明などに関する4つの資料を参考にさせることとした。ただ、全員が4つの資料を読み、その内容を把握するには時間を要するため、各班の1人が1つの資料を読み、その要点を他の班員に伝えることとした。

正解のない問いに対して、多様な意見を踏まえ、各班・各自の意見を定めることを重視した

各班・各自が入力した内容をお互いが見ることができるようにしたことで、発表した班だけではなく、他の班の意見も知り、多様な意見があることを知るとともに、そのことを踏まえて、自分自身が考察し意見をまとめることができるように工夫した。

■ 実践の振り返り-活用を深めるために-

ベーシックインカム制度の導入に対する是非について話し合うにあたり、関連する4つの資料を生徒が読み、その内容を踏まえて話し合いをさせるよう工夫したことにより、生徒たちだけでは出てこないような意見も踏まえて話し合うことができていた。

一方で、資料の内容が難しかったこともあり、班によっては資料の内容を十分に理解し自分たちの考えをまとめて記述することができておらず、単に資料に書いてある内容を抜き出して班の意見としていたところもあるなど、すべての生徒が多面的・多角的に考察するまでには至らなかった。